

多文化共生教育支援事業報告書

1 委託業務名・概要

(1)業務名 地域共生交流ネットワーク

(2)概要（事業の要約・事業の目的など）

安城市立新田小学校の児童とお互いに学んでいる「英語」を使って交流することによって、コミュニケーションを円滑にし、お互いの文化・価値観の尊重を目指す。

日本とブラジルの文化を紹介しあい、両国の理解増進を図る。

日本の文化、お茶・お花を学ぶことによって、日本独特の精神文化に触れる。

2 実施事業について

(1)実施時期 平成17年7月1日（金）～平成18年2月28日（火）

(2)実施地域 安城市立新田小学校、エスコーラサンパウロ、安城市文化センター、安城市篠目公園、豊田スポーツセンター、中部大学

(3)事業の具体的内容

平成17年7月13日（水） 【日本の歴史文化交流】

（新田小学校との交流事業 於:新田小学校）

安城市立新田小学校の6年生が実施する「野焼きイベント」に、エスコーラサンパウロ校生徒5年生が参加し、今後の交流事業のプレイベントとして開催。

《参加人数等》

学 校	参加人数	備考
安城市立新田小学校	67名	6年生
エスコーラサンパウロ	9名	5年生

平成17年7月17日（日） 【フェスタジェニーナ】（於:安城市篠目公園）

ブラジルのお祭りを開催し、ブラジル人と地域の人や子供の交流事業を実施。

参加者：1,100人

《プログラム内容》

- ・ダンス（Quadrolha:四人で踊るダンス、Forro:騒々しいダンスなど）
- ・田舎の結婚式（casamento caipira）
- ・ビンゴゲーム

・ Churrasco(シュハスコ)、salgado(サウガート)、doce (ドーセ)の売店設置など
平成17年10月8日(土) 【お茶会交流】(於:安城文化センター和室)

エスコーラサンパウロの生徒と保護者に対し、地域住民の協力を得ながら、日本の文化「茶の湯」の体験講座を開催。

参加者：60名

平成17年10月23日(日) 【外国人青少年支援サッカー大会】(於豊田県サッカー)

財団法人豊田市国際交流協会が主催する外国人青少年支援サッカー大会に参加し、日本の学校や朝鮮学校と交流試合を行った。

《参加人数》

・エスコーラサンパウロ 40名【2年生(8歳)から8年生(15歳)まで】

平成17年11月16日(水) 【サッカー交流】(新田小学校交流事業 於新田小学校)

サッカー交流前、英語で自己紹介と、好きなものについて互いに発表した後、新田小5年生とエスコーラサンパウロ4年、5年生が混合チームを結成し、サッカー交流(3試合・15分ハーフ)を実施した。

《参加人数等》

学 校	参加人数	備考
安城市立新田小学校	85名	5年生
エスコーラサンパウロ	40名	4・5年生

平成17年12月7日(水) 【ブラジルと日本の「食文化交流」】

(新田小学校交流事業 於安城市立新田小学校)

安城市立新田小学校の5年生が安城地域の郷土料理に挑戦し、エスコーラサンパウロの生徒との食文化交流を実施した。郷土料理のレシピを「英語」で紹介した。

一方、エスコーラサンパウロはブラジルの代表料理 Churrasco (シュハスコ)に挑戦し、新田小学校の5年生に「英語」で紹介した。

《参加人数等》

学 校	参加人数	備考
安城市立新田小学校	85名	5年生
エスコーラサンパウロ	14名	5年生

平成 18 年 1 月 30 日（月） 【生け花交流】（於：エスコーラサンパウロ）

エスコーラサンパウロの高校 1 年生 5 人に日本文化(生け花)を体験させることで、日本の文化理解の促進を図った。

講師には地域の生け花教室の先生を招き、生け花の流派、基本的な違い、季節の花のいけ方、基本の花型について学ぶとともに、広い視野で生け花に取組み、自分自身を豊かにすることを目標とした。

平成 18 年 2 月 15 日（水） 【サンバ交流】（新田小学校交流事業於：新田小学校）

新田小学校 6 年生にエスコーラサンパウロの生徒達がブラジルの代表的踊り、サンバを指導。皆でリオのカーニバルを体験した。

また、エスコーラサンパウロの生徒に新田小学校の生徒達が和太鼓の披露、指導を行うなど、サンバと和太鼓を通してブラジル・日本の伝統文化理解を深めた。

学 校	参加人数	備考
安城市立新田小学校	67名	6年生
エスコーラサンパウロ	70名	3年生～高校1年生

平成 18 年 2 月 18 日（土） 19 日（日） 【サッカー交流】（於：中部大学）

「NPO法人地球子ども村」の「子どもワールドカップ2005」に4年生から高校生までの21名（2チーム）が参加した。

3 実施結果（実施の効果等）

- (1) サッカー交流、食文化交流、サンバ交流などを通して、他の民族への興味や関心が増した。
- (2) 学校側の状況
 - ・新田小学校

郷土料理を通して「安城」の良さを再認識することができた。また、ブラジルの料理を体験し、食文化の違いを理解した。
 - ・エスコーラサンパウロ

日本の普段食べたことのない郷土料理を体験することができ、日本の食文化の違いを理解した。
- (3) 言葉の壁を越えて、子供達はすぐに仲良くなる力を持っていることを、改めて知ることができた。

- (4) お茶やお花など日本の文化を体験することにより、日本の文化を理解することができた。
- (5) 子供達だけでなく、お茶とお花を教えて下さった地域の先生が遠くからながめていただけの外国の文化について、交流を通して理解を深め、地域交流の機運が高まった。

4 事業の特質（工夫した点など）

- ・ブラジル人学校には運動場がない為、サッカーの練習が思うようできず、安城市の運動公園等を借りて練習に取り組んだ。
- ・お茶会については、「お茶」をどのような作法で飲むかなど、事前学習を実施した。
- ・フェスタジェニナを始め事業の広報については、近隣の市町へ案内状を送付し、参加を呼びかけた。また、地域住民の方へも案内状を送付するなど積極的な広報活動を実施した。

5 今後の課題

- ・英語力の強化。（共通言語である為、今後更に力を入れて学ぶ必要がある）
- ・日本の学校だけでなく、朝鮮学校やフィリピン人の学校など、県内の様々な外国人学校との交流に取り組む必要がある。
- ・フェスタジェニナのようなブラジルの文化を紹介できる機会を積極的に開催するとともに、積極的に地域の人々の参加を呼びかけるなど、地域の人との交流を継続し、互いの価値観、文化・習慣を尊重することが重要である。
- ・愛知県には外国人が多く在住している現状をもっと多くの方に理解してもらうことがブラジルの子ども達の教育環境の改善にもつながる。地域におけるブラジル人学校の果たすべき役割などについても検討する必要がある。

6 その他参考事項

【マスコミ等の取材】

平成18年 2月16日（木） 「サンバ交流」中日新聞

平成17年12月 7日（水） ブラジルと日本の「食文化交流」

東海テレビ、名古屋テレビ、KATCH TV、IPC

岡崎市主催の「岡崎こどもまつり」への参加依頼があった。